

皆さんには、昔から大切にしているものはありますか？私は、母からもらった着物です。母もまた、祖母からもらった古い物ですが、生地がしっかりしていてデザインも美しいので、とても気に入っています。代々受け継いできたもので、母や祖母の想いも入っているので、これからも大切にしたいと思っています。

ところで、皆さんは、日本古来の伝統工芸と聞いてどんなものを思い浮かべますか？輪島塗や西陣織、徳島だと大谷焼や阿波和紙など…ちょっと考えても色々なものが浮かびますが、時代を超えて受け継がれてきたものには、それぞれにたくさんの歴史や想いが詰まっているのです。

あるものは時代に合わせて形を変え、あるものはそのままの形を大切にしながら100年を超えて受け継がれているので、その長い間には、原材料の確保や後継者不足などの問題もあったようですが、それ自体の魅力や支える人たちの想いが、今でも私たちの目に触れることを実現させているのです。

今回の授業で皆さんに知ってもらいたいことは、伝統を支える人たちがいる、ということです。

『伝統工芸』とは、一般的に100年以上の歴史を持っている織物や漆器などをいうのですが、大事なことは、**“魅力あるものを地域の力で支えながら受け継いでいること”**だと、私は考えています。

なぜなら、それぞれの土地がもつ風土や歴史から生まれた魅力あるものを、その地域の力で様々な問題を乗り越え(歴史)、長く支え続けた先に(想い)、“伝統”と呼ばれる結果がついてくると思うからです。

どこかで伝統工芸品を目にしたとき、その歴史や想いを感じて選んでみましょう。それは、伝統を支え続ける意欲へと変わるはずです。伝統を支えるどこかの地域へ、**ちょっぴり幸せを贈って**みませんか？

来月の授業は、「リサイクル(エコマーク付き)商品」です。リサイクル(エコマーク付き)商品とはどういうものなのか、環境にどのように影響するのかを掲載しますので、ぜひご覧ください。

板野町は、エシカル消費を推進しています。

お問い合わせ 役場産業課 ☎672-5994

【ひとくちメモ】

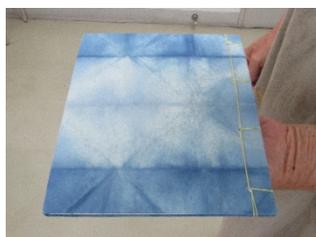
※伝統工芸品は、贅沢品だと思われがちですが、本来は、日常生活で使うために作られた物なので、良い物を後世に残していくためにも、気楽に日常生活に取り入れてみるのも良いのかもしれない。

## 板野町の取り組み

7月24日(火)、『とくしま藍の日』に消費生活相談所が、藍染めワークショップ~和綴じ帳をつくろう~を開催しました。

板野町矢武の藍染工房 Saai dye studio の田村ご夫妻を講師として招き、和紙を薬液で染めて、和綴じ帳に仕上げました。

染(すくも)…藍の葉を発酵させて作った染料



『田村ご夫妻』

## もう一人の先生

はじめまして。  
エシカル消費の現場担当：高焔です。  
ただいま藍染め中。  
愛で染め…チュー♡  
いっっっ…  
うっっっっっっっっっ♡



『エシカル消費』とは、人・社会・地域・環境などに配慮した商品を選択することです。